

2016年度 苦情・事故状況

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
11月	<p>・おかわりを入れる際、間違っアレルギーがある食材を皿に盛る。アレルギー児のおかわり分のおかずはタッパーに付箋で名前を書き、配膳台に用意していた為、子どもに配膳する前に間違っ事に気付き、入れ直すものの、新しい皿に交換せず、一度アレルギーがある食材を盛った皿に配慮のおかずを入れて提供する。</p>	<p>・保護者に連絡して経緯を話し、様子を見る。目立ったアレルギー反応は見られず、午睡後にも体調を確認し、特に変わりなく過ごす。お迎えの際に保護者の方に謝罪と経緯を詳しく説明し、謝罪する。</p>	<p>・アレルギーがある食材を一度盛った皿は使用せず、新しい皿に変える事を職員間で再度周知する。</p>
	<p>・おかわりを入れる際、間違っアレルギーがある食材を盛り、そのままアレルギー児の目の前に提供する。その後、看護師がアレルギー児専用のお盆の上にアレルギー食材が盛られている事に気付くすぐに回収する。誤食はしていない状況であったが、食べたか食べていないか曖昧だった。</p>	<p>・保護者に連絡して経緯を話し、様子を見る。目立ったアレルギー反応は見られず、午睡後にも体調を確認し、特に変わりなく過ごす。お迎えの際に保護者の方に謝罪と経緯を詳しく説明し、今後アレルギー児のおかわりの配膳の方法を見直す事を伝える。</p>	<p>・アレルギー児のおかわり分の配慮の提供の仕方を見直す。 ・アレルギー児の名前を記入したおかわり分のタッパーにアレルギー食材を入れておく。配膳時、アレルギー児専用のお盆に乗せて提供すると共に、アレルギー児のおかわり分のタッパーもお盆の上に乗せて用意しておき、食事中にお盆内以外の食材はおかわりを入れたり食べたりしないようにする。</p>
12月	<p>・他児が投げた木製の線路玩具が顔に当たり、左目瞼に極わずかな内出血斑と眼球結膜にごま粒大の出血斑が見られる。</p>	<p>・左目を気にしたり痛がったりする様子はなかったが、直接玩具が眼球に当たった可能性が考えられる為、眼科を受診する。左眼角膜にかすり傷があると診断され、感染予防の為、点眼薬と眼軟膏を処方される。2日後、再診し、治癒していると診断を受ける。</p>	<p>・子どもとの関わりの中ですぐに対応出来る様、職員の配置や注意力・職員同士の声の掛け合い等を職員間で再度意識出来る様に周知する。</p>

<苦情>

日時	内容	結果	検討及び課題
	特になし		

2017年3月29日現在